

情報

スライドを作成しよう

情報と物理

16本のマッチ棒をテーブルの上にはらまいたとき、マッチ棒がテーブルの上のどこに落ちるかという可能性が同じならば、偶然にマッチ棒が「S O S(または5 0 5)」の文字の形になる可能性はあるが、非常に確率が低い。私たちが、実際に「S O S」のようになっているのを見たら、人が手で並べたと思うだろう。テーブルの上にはらまいたマッチ棒がたまたま「S O S」のように読めたとしても、まったくバラバラになったとしても、理科の物理で習う観点——物質(材質やその量)やエネルギー(位置エネルギーや温度の高低)から考えた場合、違いを説明できない。しかし、私たちはひとめ見ただけで違いが判断できるのだから、この二つには大きな差があるといえる。マッチ棒を投げたときに「S O S」と判断できることを説明するためには……。

スライド作成

- 表・図等をうまく使って表現する。
- 文章表現よりも、図を使った説明が分かりやすい。

図形を使った作図例

「作戦会議(情報交換・助言・指摘)」の位置

教師席

他のPC使わない、3分で交代(ブザー3分30秒)、メンバー5人以下なら残り時間も討議。

発表練習・スライドの印刷(希望者)

- こまめに保存せよ。
- 必要ならば**1回だけ**印刷してよい。スマホ写真もOK。
- 右図「LP-S7100(csv上)」にして「**6スライド**」を選ぶこと。印刷したい人は声をかけてください。教えます。
- 時間を測りながら、発表練習しよう!

プレゼンテーション

- 評価(アドバイス)シート・クリップボード:各1枚ずつ。
- 発表者がいない場合、適宜**他班**の発表を聞く(評価もする)。
- 約6分×7回=約42分
 - 発表:3~4分 **3分, 4分, 5分**で**ブザー**が鳴る。(3分,1分,1分のカウントダウン)
 - 質疑応答:2回目ブザー(4分)まで**発表者が(自ら)司会**をする。
 - 発表への反応はよいが発表者に**話しかけたらダメ**。私語も発表者に迷惑。
- 質疑応答後の約2分で、アドバイスシートに記入。
 - アドバイスシートの文章表記は、必ず最後に「句点。」が必要。



- ### 発表順
- ① パスカル、バベッジ、機械式計算機
 - ② マーク I、ENIAC、背景・ねらい
 - ③ フォン・ノイマン、ノイマン型コンピュータ
 - ④ クロード・シャノン、情報理論
 - ⑤ 半導体、トランジスタ、性質、役割
 - ⑥ マイクロプロセッサ、i4004、嶋正利、CPU
 - ⑦ スティーブ・ジョブズ(ズ)、Apple II 等

- ### 評価の入力
- 出席番号を間違えないように。
 - 注意深く、確実に入力する。「。」をつける。
 - 入力が終わったら、もう一度見直す。特に数字の入力ミスに注意。5が55になっているとか・・・。
 - 保存し終わったらソフトを閉じて、教科書の p147、150～156を読み、その後プリントに取り組む。